

## 東京内湾でオナガザメ獲れる!!



マオナガ (*Alopias vulpinus*)



頭胸部背面



腹部(胸鰭の上まで白い)

外洋性であるオナガザメ科の**マオナガ**が東京内湾で採捕されました。採捕したのは第2 辰宝丸の鈴木忠之(港漁業協同組合所属)さん、羽田空港D滑走路南側の水深 21~23m の所に設置した刺網を 28 年 12 月 19 日に揚げたところ見慣れない大きなサメが掛かっていたそうです。

当協会で測定したところ、全長 175cm、叉長 95cm、体重約 15kg、♀の**マオナガ**でした。本種としては小型個体となります。

**マオナガ**はネズミザメ目オナガザメ科に属する外洋性のサメで、全世界の熱帯~亜寒帯海域まで広く分布し、主に外洋の表層を遊泳します。沿岸のサンゴ礁周辺に出現することもあり、全長は 7m を超える個体もあります。また、長い尾鰭を使って小魚などを叩いて気絶させて捕食し、胎生で胎児が母胎の体内で卵を食べて発育する卵食型であることも知られています。

東京内湾のサメ類としてはドチザメ、ホシザメ、シロザメ等が普通に見られます。しかし、外洋性のサメが東京内湾で獲れるとは驚きました。迷子にでもなったのでしょうか？

